

# 新型コロナウイルス 感染予防のため 「本年度の山神社祭を中止」 「歴史資料館の開館を9月に延期」を決定!

## 蔵王鉱山閉山57周年 山神社祭「中止」のお知らせ

謹啓 地元上市市でまた一人感染者が増えてしまいました。4例目です。内閣総理大臣から「緊急事態宣言」が発せられました。先の見えないウイルスとの闘いのなかで山神社祭中止の止むなきに至り、残念な思いを込めてお知らせいたします。

蔵王鉱山に縁のあった従業員 500 人とその家族 1,000 人が夢にまで見ていた「蔵王鉱山歴史資料館」は、未完成であります。形づけられ、歴史資料が運ばれ、これらの取組みの中で多くの方々から寄付金や資料のご提供をいただきました。心からの御礼のご挨拶ができると念じておりましたが、残念でなりません。

夏が過ぎ秋風が吹く頃、ウイルスの終息も期待できると思います。その頃「9月開館」を目指して資料館の充実を整えていく決意を固めたところであります。

末筆ながら、皆様のご健勝ご活勝をご祈念申し上げ、お知らせとさせていただきます。

謹白

NPO 法人蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会  
理事長 川口 兼次

NPO 法人蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会では、令和2年4月3日(金)午後、蔵王猿倉レストハウスにおいて理事会を開催し、5月15日に予定している「山神社祭」及び「蔵王鉱山歴史資料館」開館式の執行の是非について協議を行いました。この結果、上市市など県内で新型コロナウイルスの感染が拡大を続けている状況から、多数が集まる行事を執行することは適切ではない、との意見で一致し、誠に残念ながら「山神社祭の中止」「歴史資料館は、9月開館に延期」することを満場一致で決定しました。



本理事会では、特に川口理事長より「歴史資料館は、クラウドファンディング等により、約100人の皆様から多額の寄付が寄せられ、ようやく開館に近づけることができた。開館式の当日、支援者の皆様にお披露目と謝意を表したいと思っておりますが、延期となり誠に残念でなりません。9月の開館式の際、盛大にお披露目したい」との言葉が述べられた。



第15号  
発行  
NPO法人 蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会  
山形県上市市蔵王字蔵王山 2843-1  
発行責任者 川口 兼次  
TEL.023-679-2211 FAX.679-2606  
編集責任者 高橋 正之  
山形県上市市金谷 530 TEL.023-679-2435  
印刷所  
有限会社 東洋企画印刷  
山形県上市市四谷 2-1-46  
TEL.023-673-1648 FAX.673-1646

## 公益財団法人東日本鉄道文化財団より 「資料館・ジオラマ」 製作支援承認の内報あり

当法人では、蔵王鉱山歴史資料館の開館に向け、展示品のリストアップを行う一方、支援者に財政的支援を求め、活動を続けてきました。展示品の一つとして予定している製錬所・猿倉及び元山のジオラマの製作費用の一部を、公益財団法人東日本鉄道文化財団が進める地方文化事業支援の二〇二〇年度対象事業として承認されました。これで念願であった、鉱山の在りし白の社宅や寮、工場、学校、索道等が形となって再現出来そうです。現在、展示している展示物及び今後展示を予定しているものは以下の通りです。



No	展示品目	期日	No	展示品目	期日
1	法人会員、支援者芳名簿	展示予定	11	写真パネル、絵画、写真集	一部展示
2	鉱山歴史年表	展示予定	12	「坑内火災状況報告書」(遺族よりの贈呈品)	展示済み
3	歴代鉱山社(所)長	展示予定	13	蔵王鉱山は誰のもの(理事長著作)	展示済み
4	歴代労働組合委員長・主婦の会長	展示予定	14	「蔵王鉱山の思い出」(専務理事著作)	展示済み
5	中川第二小歴代校長	展示予定	15	小学校文集・通信簿等	一部展示
6	社宅(入居者)地図(製錬場、猿倉、元山)	展示予定	16	蔵王鉱山・山神社会報	一部展示
7	元山採鉱所坑内図	展示予定	17	院内鉱山等他の鉱山の資料	展示済み
8	鉱山事務所内デスク配置図	展示予定	18	鉱山を中心とするジオラマ(間山 昭氏製作)	展示済み
9	社内報(やまびこ)	一部展示	19	製錬所・猿倉、元山を中心とするジオラマ(公益財団法人東日本鉄道文化財団より受援)	令和2年度中に製作 展示予定
10	労働組合闘争史(密閉)	展示済み	20	映写装置、スクリーン	展示予定

注1 NO13(蔵王鉱山の思い出)は、将来各有志より、製錬所、元山、猿倉での生活状況を執筆いただき、合作した「思い出集」を製作し、会員及び来館者に販売することを予定しています。

注2 NO19の映写装置は、将来増築される教室棟入り口付近に設置し、入館者に最初に映像を通して見てもらうよう構想している。



1億2千万で契約したものの、本当に支払えるのであろうか、正直に言えば寝ても覚めても頭から離れなかった。そんな時、私が新居を構えた山形市半郷の隣組・佐藤みつさん(索道・佐藤四郎さんの奥さん)から「主婦の会の集まりがあるのを顔を出してくれないか」というお誘いがあった。閉山されて25年目の時だったので嬉しかった。

旅館の浴衣に着替えて参列。「お元気で再会できて嬉しい」、会長の高橋静枝さんから歯切れのいい



ん(組合事務所の前だったので、良く知っていた)、神社が崩壊寸前、川口さんは一番近いところに住

富田益子さんから提案があった。「山

### 蔵王鉱山は誰のもの

「その十三」

東京弁でありさつ。新庄から参加した阿部恵子さ

大竹はるえさん(組合書記の悦ちゃんの母)、兼ちゃんと呼んでくれた丹野キクヨさんを

山神社は、こうして再現された。「主婦の会」の厚い想いでいった。

そして平成8年5月15日、塩田元鉱業所長ご出席の中で盛大に「復元式」が挙行された。



崩壊寸前の山神社で復元を誓う(平成7年5月15日)

